（別紙１ 様式）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日

文部科学省科学技術・学術政策局

政策課資源室長

（食品成分委員会事務局）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（依頼者）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　名　称

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者名

日本食品標準成分表への収載依頼について

　日本食品標準成分表に[a新たな食品の収載b収載食品の成分値の改訂・追加] ※を希望しますので、別添のとおり関係書類を添えて提出します。

（事前相談時は、依頼者、連絡先、１．【収載を希望する食品】、２．【食品の概要について】を記載の上、資源室に提出。事前相談後に３．【分析機関及び提供する分析データについて】以降も記載の上、提出。）

※）a,bのうち該当するものに○。

|  |
| --- |
| 依頼者(団体等)名　：住　所　：〒代表者名　　役職名　　　　　　氏　名 |

|  |
| --- |
| 連絡先①住　所　〒②担当者名：　担当部署：③電話/メールアドレス |

# 【収載を希望する食品】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 食品番号(既収載食品のみ) | 食品名 | 調理後 | 学名（該当がある場合） |
| ●● | ●● | ― | ●● |
|  | ●● | 焼き |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※　新規食品の場合は、食品番号は不要です。

成分項目については本表成分、脂肪酸等適宜略した記載でも可能です。

※　調理後の食品（焼き、水煮、フライなど）は素材（生）とセットで収載します。

# 【食品の概要について】※既収載食品の場合は必要ありません。

|  |
| --- |
| * 当該食品の生産状況（生産地、生産量/額）、消費・流通状況（消費地、消費量/額）などをできるだけ詳しく記載してください。）
* 加工食品については、原材料名とそれぞれの分量を記載してください。
* 料理（そう菜）については、標準的なレシピ、作り方、食べられている範囲、大よその摂取頻度などについても記載してください。
* 必要に応じて参考資料を添付してください。
 |

# 【分析機関及び提供する分析データについて】

（１）分析を実施した機関等について（注）

分析機関の名称：

所在地：

分析を行った時期：

（２）分析方法、及び妥当性が確認された方法を用いているか

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 成分　※1 | 分　析　方　法 | 妥当性が確認された方法か※2 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

記載注意）※1：分析する成分項目全てを記載してください。

　　　　　※2：マニュアルに定められている方法であればA、公定法（AOAC法を含む)であればB、マニュアルに準じる方法等で妥当性確認された方法であればCと記載し, Bの場合はそれを特定できる名称、Cの場合は妥当性の確認方法についても記載してください。

（３）内部質管理（内部精度管理）の実施状況

（４）技能試験への参加（外部精度管理の実施状況）

（５）当該分析対象成分に対するISO/IEC 17025の認定状況

　　・認定番号：

　　・認定試験所の名称：

・認定範囲：

　（試験品目、試験項目）

・認定日：

・有効期限：

・認定機関：

※ 　上記内容（１），（３）～（５）がわかる資料（パンフレット等）でも代替可能です。

# **※ 分析データ等についてはマニュアル付録４に沿って提出してください。**